



まつぼっくり

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」



支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成

～当たり前のことときちんとやる人材育成をとおして～

上記の言葉は、本校の今年度の学校教育目標です。人は一人では生きていくことはできないと思います。人は「支え合い」、良い関係を築きながら良い取り組み、良い仕事をしていくものです。「支え合うこと」はとても大切です。お互いの短所をお互いの長所でカバーし合い、1+1は2ですが、一人一人は2ではなく、3・4・5と力を発揮していくと思います。そうしたいものです。また、そのような「学び合い」ができると思います。一人の知恵より二人三人と集まればいろいろな考え方やアイデアが出てきます。「支え合い・学び合う」ことで一人ではできない体験や学びの深まりが出てきます。また、学校の集団の中でしか体験できないことをたくさん経験し、「達成感や成就感、あるいはうまくいかない焦燥感や苦労」をたくさん体験してほしいと思います。そして、人としての「人格の完成」を目指します。また、「ふるさとである三角」を誇りに思い、「地域の方々への感謝の気持ちを忘れず」過ごして欲しいと願っています。この学校教育目標を職員はもちろん、保護者の方々も子ども達にも理解していただき、共に三角小全児童の健全育成に当たっていきたいと考えます。どうぞ、その旨を理解していただき、子ども達への愛情ある叱咤激励の継続をお願いいたします。1年後の子ども達の成長を心から願っております。よろしくお願ひいたします。



三角小学校の宝である子どもと職員



体格測定で静かに待つことのできる児童

命名「まつぼっくり」

今年度の学校だよりの「タイトル名」です。私の独断で決めました。三角には海や港、ミカンや蘭、そして世界遺産など有名なものやすばらしい自然がいっぱいです。その中で「まつぼっくり」としたのは、もちろん理由があります。三角小の職員玄関前、戦没者の方の慰霊碑の前に大きな大王松があります。5年前から知っていましたが、その大王松は大きなまつぼっくりを落とします。その大きさは、本当に見事です。この松が三角小のシンボルツリーです。(私はそう思っています。) 用務員の山田先生に聞きますと、松の下で作業をするときはヘルメットが必要とのことでした。大きなまつぼっくりが落ちてくるので頭に当たったら怪我をするとのことでした。本当にそれぐらい大きいのです。「ぼっくり」なんか響きがいいです。また、イタリア語では「ピノ」というそうです。これまたかわいい響きです。三角っ子の子ども達も、本校のまつぼっくりのようにおおきくかわいく育ってほしいと願っています。(名前の由来は諸説あります。)

